

公民

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
公民	政治・経済	2	3年次・K群	選択

目 標			履修の条件・連絡		
広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治・経済・国際関係などについて、客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な資質・能力や態度を育てる。			・履修条件は特にない。		
使用教科書 (出版社)		高等学校 改訂版 政治・経済 (第一学習社)	副教材 (準備物)	プリント	
学 習 の 期 間 計 画	1 学 期	4月	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法	・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させる。 ・民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方を考察させる。 ・国際法の意義、国際機構の役割、日本の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。	
		5月			
		6月	第2章 現代の国際政治と日本		
		7月			
	2 学 期	9月	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質	・経済活動の意義、国民経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。 ・貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させる。	
		10月			
		11月	第2章 国民経済と国際経済		
		12月			
	3 学 期	1月	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題	・グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。 ・少子高齢化社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探求させる。	
		2月			
		3月			
	学 習 評 価	観 点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の技能
規 準		授業の内容や社会での事象に関心を持っているか。 授業を意欲的に取り組んでいるか。	様々な事象について客観的に考察できているか。 現代社会の諸課題について客観的に判断しているか。	新聞やニュースを様々な事象と結びつけているか。 ICT 機器などを用いて、分析や集計などができているか。	授業の内容を的確に理解しているか。 諸事情への見方や考え方を深めているか。
手 段		・授業中の態度の観察 ・ICT 機器の使用	・授業中の応答の観察 ・提出物の状況	・新聞記事の配布 ・ICT 機器の使用	・定期考査の実施 ・問題演習の実施
価 値		各学期や年間の学習状況の 評価方法		・定期考査を3分の2程度、平常点を3分の1程度の割合で評価する。 ・平常点は授業態度や提出物等の状況の内容である。	
学 習 上 の 留 意 点	・世論形成などについて、具体的事例を取り上げ、主権者として政治に対する関心を高める。 ・文化や宗教の多様性について理解させ、多様な角度から考察させる。 ・基本的概念や理論の理解の上で、理論と現実との相互関連を理解させる。 ・生徒をよく観察することで双方向の応答を大切にし、意欲的に授業に取り組む雰囲気を作る。				